海外の話題

ウィーケストリンク（EU の試練）

農林中央金庫　ロンドン支店長　　高島　浩

英国の人気クイズ番組のひとつに『ザ・ウィーケストリンク』という番組がある。日本では、みのもんたの「ファイナルアンサー」でおなじみの『クイズ＄ミリオネア』が英国を発祥地とする番組として有名であるが、このウィーケストリンクも世界各国で好評を呼んでいる番組のひとつである。

ゲームの内容は、9 人の回答者が半円形に一列に並び、全員が 1 チームとして、一定時間内に一人ずつ一般常識問題に解答し賞金をチームで積み立ててゆくものであるが、次のラウンドに進むにあたり、それぞれの回答者が排除したい人、すなわちウィーケストリンクを投票し、蹴落としていくところがゲームのみそだ。最終的には 2 名の一騎打ちで勝敗を決めることとなるが、ゲームの勝者は各ラウンドの全獲得賞金を手にする。日本でも『ウィーケストリンク☆一人勝ちの法則』というタイトルで過去に放送されたことがあるが、解答者同士が足を引っ張り合うルールが日本になじまなかったようである。

ウィーケストリンクとは「鎖の一番弱いところ、命とりになりかねないこと」という意味であるが、昨今のギリシャの財政危機をめぐる EU 各国の反応を見ていると、ユーロ圏という鎖が一番弱いところから壊れていくのではないかという不安を感じさせる。金融政策ではユーロという共通通貨をベースに歩調を合わせているが、財政・経済政策は各国別々に運営されているため、今回のギリシャの財政危機に際して EU 各国の協調支援の足並みがなかなか揃わず、ユーロへの信任が揺らぎかねない状況となっている。さらには、ポルトガル他南欧の国も財政問題を抱えており、EU 全体の不安材料となっている。

こうした状況を生じさせている原因のひとつにドイツのギリシャ支援に対する姿勢がある。前述のクイズ番組のようにドイツは一人勝ちを望んでいるわけではないが、ギリシャの支援のためドイツ国民の負担につながる恐れのある解決案にメルケル首相が二の足を踏んでいたということのようである。幸い、3 月 26 日の EU 首脳会議で結束を優先し、ドイツの意向を踏まえて EU 単独ではなく IMF を巻き込んだ支援策が発表されたのは新聞報道のとおりである。

ユーロは、それぞれの国が財政規律を守ることをよりどころに成り立っている通貨である。当然、財政削減の努力を怠り、財政赤字をごまかす粉飾を行っていたギリシャの非はぬぐえないものの、ドイツはユーロの発足により EU 域内への輸出が増加し、相応のメリットを享受したのも事実である。フランスの財務相が主張するように、EU 域内の不均衡を是正するため、ドイツも EU 各国の商品を積極的に輸入するよう内需拡大にも努力すべきだというのも一理あると思われる。

今回の支援策合意で多少マーケットは落ち着き始めているが、弱くなった鎖を強固にするための政策等の議論はまだ進められていない。各国とも失業率対策など多くの国内問題を抱えているため、EU 全体で財政・経済政策の足並みをそろえることが困難で、今回の EU 内での意思決定の混乱は将来への不安材料となっているような気がする。

ウィーケストリンクは鎖の一番弱いところなので補強すればすむということなのかもしれないが、東洋的に考えれば数珠が切れた場合は元には戻らない、「命とりとなりかねないこと」と考える必要があるのではないか。

テレビ番組のウィーケストリンクは、全員が協力して賞金を積み立てし、最後まで勝ち抜いた勝者が賞金を独り占めするゲームだが、EU 各国の課題は通貨ユーロという共通の鎖を強固にしていくものではないか。一昨年以降の金融危機の影響等で各国とも抱える国内事情が異なってきており、EU 共通の課題に取り組む際の足並みはなかなか揃わない。EU の試練は当面続きそうである。

ここに掲載されているあらゆる内容の無断転載･複製を禁じます